

生涯学習施設に関する市民説明会

◎問合せ
生涯学習課社会教育係
(内線2214・2213)

市で構想している生涯学習施設について、皆さんに理解を深めていただくための説明会を開催します。

- 日時・会場 7月27日(日) 各回とも60分程度
＜1回目＞ 午後1時30分～ 中央公民館2階西集会室(70名程度)
＜2回目＞ 午後6時30分～ 産業文化会館2階会議室
- 対象 市民及び市内に通学、通勤する方 等
- 内容 ①基本構想および基本計画(案)について
②パブリックコメントの実施状況の概要について
③今後のスケジュールについて 等
- 申込み 不要ですが、会場のスペースに限りがありますので、先着順とさせていただきます。



胎内市生涯学習施設整備基本計画(案)に関する パブリックコメント(意見募集)の受付状況について

パブリックコメント(意見募集)の受付状況についてお知らせします。
ご意見をお寄せいただいた皆様、大変ありがとうございました。
応募いただきましたご意見の内容を検討しながら、「胎内市生涯学習施設整備基本計画」の策定に活かしてまいります。

◎問合せ
生涯学習課社会教育係
(内線2214・2213)

- 閲覧・募集期間 4月17日～6月17日
- お寄せいただいたご意見の数 59件
- 結果の公表 寄せられたご意見等につきまして、7月中旬～下旬をめどに、内容ごとに整理・分類したうえで、これに対する市の考え方とともに公表いたします。
- 寄せられたパブリックコメント(意見募集)の一部をご紹介します



①建設場所・立地に関して

- ◆建設候補地の関沢地内(通称:嘉平山)は市街地から遠く、徒歩などでの利用が難しいことから、高齢者や子ども、子育て世代が気軽に利用しにくいのではないかと。
- ◆5月21日付の新潟日報で、嘉平山が建設候補地であるかのように報じられ、十分な説明がないまま決定したように感じられた。
- ◆自動車を利用しない市民への配慮や、他の候補地の再検討、交流拠点としてふさわしい立地を慎重に選定すべきではないかと。



市の考え

- ① 生涯学習施設は、来館者が快適に過ごせるよう、ゆったりとした空間とするとともに、屋外には子どもたちが自由に遊べる広場や交流スペースの整備を検討しており、そのため、広さに余裕のある敷地が求められます。また、大多数の利用者は自家用車で来館することが見込まれるため、アクセスが容易でまとまった台数の駐車場が確保できることが条件となります。これらを踏まえ、駅周辺や旧中条体育館跡地なども検討した中で、市街地に近く、アクセスが良く、自然に恵まれた関沢地内の市有地(通称:嘉平山)を有力な建設候補地としています。

ただし、現在の建設候補地は、あくまで有力候補地の一つであり、決して確定した建設予定地ではありません。5月22日付の市長随想(Facebook)や6月15日号の市報たいないでもお伝えしましたように、今後、多様な意見を望ましい方向に集約すべく、市に対して答申できる組織を立ち上げることも視野に入れて、意見を整理し、必要に応じて基本計画(案)の見直しも検討します。

生涯学習施設は「市全体の施設」として位置付けており、のれんす号の活用や定期バスの運行も検討し、多くの市民が利用しやすい環境を整えていきたいと考えています。



② 施設規模・財政に関して

- ◆胎内市の人口減少が想定以上に進む可能性を踏まえ、施設の規模・予算（特に事業費45億円程度）が適切か。
- ◆利用者数や将来負担を見据え、よりコンパクトで持続可能な規模の施設を求める。

② 生涯学習施設は、公民館、図書館、交流拠点の3つの機能を集約した複合施設として、ある程度の規模を考えていますが、設計者の提案を柔軟に検討するなどしながら、効率化と縮小化を図り、コスト削減に努めます。なお、人口減少に伴い歳入減も懸念されるところですが、財源としては、国の補助金等の活用に加え、4年後に運転開始される予定の洋上風力発電から生じる安定的・長期的な固定資産税収入も想定しています。

市の考え



③ 既存施設の活用に関して

- ◆これまでの図書館や中央公民館がなくなると歩いていけなくなってしまう。既存の公共施設（産業文化会館、公民館、ぶれすば胎内等）を活用し、新たな施設と既存施設との役割分担、費用対効果の観点を重視すべきではないか。

③ 老朽化が進んでいる中条地区の図書館や中央公民館は、実質的には中条地区の皆様の施設としての役割を果たしてきたものと受け止めています。そのため、今後、中条地区においても乙、築地、黒川地区の地区公民館等と同様に、図書室を併設した公民館的な機能は、既存施設の活用も含めて、その機能を維持していきます。

※これとは別に、このたび建設予定の生涯学習施設は「市全体の施設」として構想しているものです。

市の考え



④ 利用対象世代・施設コンセプトに関して

- ◆子ども、子育て世代、高齢者、学生、社会人など、幅広い世代が利用しやすい施設づくりを求める。特に、平日日中は高齢者の利用が中心となること、学生利用への配慮が必要ではないか。

④ 生涯学習施設は公民館、図書館、交流拠点という3つの機能を集約した施設とする計画であり、さまざまな世代が目的に応じて気軽に利用できることを目指しており、静かに学習できる空間や多世代が交流できるスペースの配置も含め、今後の設計の中にさまざまな要素を盛り込むべく検討していきたいと思っています。

また、子どもたちの遊び場についても、ニーズが高いことから、交流拠点として多世代の方の利用と両立できる形で設けてまいりたいと考えています。

市の考え



⑤ 市民への分かりやすい情報発信に関して

- ◆検討経緯などが市民に十分伝わっていない。広く市民の理解を得るため、より分かりやすい言葉や方法で行うべきではないか。

⑤ 市民の皆様にご理解いただけるよう、説明会の開催や分かりやすい情報提供に努めてまいります。

市の考え

パブリックコメントに貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。
7月中旬から下旬をめぐり、市のホームページに回答を掲載する予定です。
右記QRコードより進み、ご覧ください。

